

学校だより 高遠の子

伊那市立
高遠中学校
2021.7.9
No.7

(ZOOM 校長講話 7・2)

学びとは・・・

～タブレットの使い方にかかわって～

おはようございます。今日は読書の時間をいただいで、私からタブレット、ICTと学習について話をさせていただきます。プレゼン資料を見ながら一緒に考えてください。

し、学習を積み重ねていくPDCAサイクルの構築が見えてきます。今日は、皆さんにとって当たり前のような話をしますが、これからの生活に役立ててほしいと思います。星印のところ、学習の「質」と「量」について考えてみましょう。

テストに限らず、学習内容が分かるためには、質と量から考える必要があります。授業も家庭

学習も同じです。目で追ってください。今、学習の話をしていますが、このことは生き方の問題でもあります。時間は誰でも同じ時間が与えられているといいますが、私は違うと考えています。なぜなら、人の寿命は人によってすべて違うからです。今、どのようにして自分と周りの人の成長と幸せ

テスト「お疲れ様でした。」

自己分析・・・PDCAサイクルによる学習の構築

☆どのように学習に取り組んできたか・・・「質」

☆学習時間をどれくらいもったか・・・「量」

「4教科のテストが返ってきました。4教科中1番できたのは理科です。テスト勉強の時は、1番自信がなかったので、とても嬉しかったです。」(2年生徒)

「数学のテストが返ってきました。思ったより点数が取れなかったので、もっとしっかりと勉強をして、計算をもっと正確に出来るようにしていきたいです。合計点は〇〇〇点はいったけど、あまり良くなかったのも、もっと頑張りたいです。」(2年生徒)

始めに学習について少し話をします。1・2年生の期末テスト、3年生実力テスト、お疲れさまでした。3年生はほぼ毎月とっていいくらいにテストが続き、範囲も広いのでとても大変です。

ここに2年生の学級だよりから拝借して、生徒さんの声を載せました。この文章から、目標をもって学習に向かい、テスト結果を受けて、見返し、次へスタートしようとしている姿が見えてきます。

Plan・・・計画
Do・・・実行
Check・・・点検
Action・・・行動

きっと皆さんも同じであろうと思います。自己分析

のために時間を使うかということです。人はなぜ生きるのか、なぜ学ぶのかということにつながっています。「人はなぜ学ぶのか」皆さんは何

「質」と「量」・・・“生き方の問題”

- ・ 目的を明らかにして取り組む (ただ書いている…▲)
- ・ 自分の課題に即して取り組む (できる問題ばかり…▲)
- ・ 集中できる環境 (テレビや会話など意識が他に向く…▲)

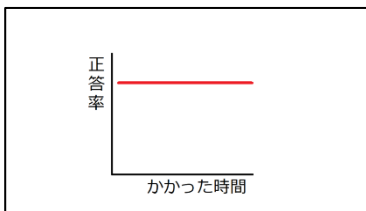
「量」
・ 学習時間の確保

自分と周りの成長と幸せ

と答えますか？

では、次に問題を出しましょう。

これは教えていただいた話ですが、ある小学校で算数の問題を最後まで解きましょうというテストをしました。制限時間はなく、全部の問題を解くまでということ。横軸には全問終わるまでにかかった時間順にならべて、正答率、正答数ですね。それを縦軸にして表しました。上に行くほど正答率が高いということです。グラフでは右にいくほど時間がかかったということです。その結果、AからDのどのグラフになったと思いますか？



結果は、このグラフに最も近くなりま

した。もちろん個人差はありますので、こんなにまっすぐの結果ではありませんが、おおよそこのグラフに近かったということです。

このことはとても重要な意味をもっています。みなさんが受けているテストは時間制限があります。すぐに答えが出る人は解く問題数も増えて点数が伸びます。でも、時間が無制限ならば、そんなに大きな違いはでてこないということになるのです。答えが全然出てこないという問いもありますね。それはテスト勉強でやったつもりでも頭に残っていなかったということです。記憶するための勉強の時間、経験の回数が少なかったということが考えられます。

中学1年のときに分からなかった問題が3年生になって解けるようになるのも同じ理由からです。勉強に時間をたくさんかけることが理解につながっているということになります。

ここまで学習について話をしました。次にタブレットの話です。一人1台のタブレットが今、手元にあり、どんどん使える環境になりました。なかった時と比べ物にならない変化が皆さん

の中で起きています。学級でも話し合ったところがあると思いますが、ここで改めて、使い方について考えてみましょう。

ここに、ある学習場面を想定しました。小学校での学習です。左はタブレットがない場合の

「ある学習場面」 “身近な植物を紹介しよう”	
<p>タブレットの効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ①外に出かけてスケッチ。 ②図書館の図鑑で見つける。 ③名前や特徴をノートに書く。 ④紙（画用紙、模造紙）にまとめる。 ⑤紙を使って発表。 	<ul style="list-style-type: none"> ①タブレットで撮影 ②インターネットで見つける。 ③コピー・ペースト ④スクールタクトにまとめる。 ⑤プロジェクタで発表。

やり方。右はタブレットなど使った学習です。どちらの方が素早くできるか・・・タブレットを使い始めたみなさんであれば、おそらく右の方を選ぶ人が多いのではないのでしょうか。効率的に短時間で学習をすすめていき、残った時間でさらに深い学習ができるようになるということです。一人1台のタブレットが、皆さんの学習のために用意された理由のひとつです。

ただし、左の学び方と右の学び方のどちらがよいかは簡単には言えません。どちらも良さと課題があるからです。

さて、最後の話です。これも皆さんはすでに学んでいることですが、タブレットや携帯スマホの使用は、インターネットやSNSの問題、怖さも併せ持ちます。

人権を侵害する使い方、お金にかかわるトラブル、犯罪などです。許されない使い方をすれば、自分だけでなく周囲に迷惑をかけます。今、問題となっているのは、皆さんの中で、学習にかかわらない使い方をしている人がいるということです。

ここで改めてお伝えすることは、あなたの使っているタブレットはあなたのものではないということ、学習のために使ってほしいということです。ここまで話をしてきたことを振り返り、自分たちの使い方を考えてみてください。以上で話を終わります。



タブレットの使い方について話し合う3年生

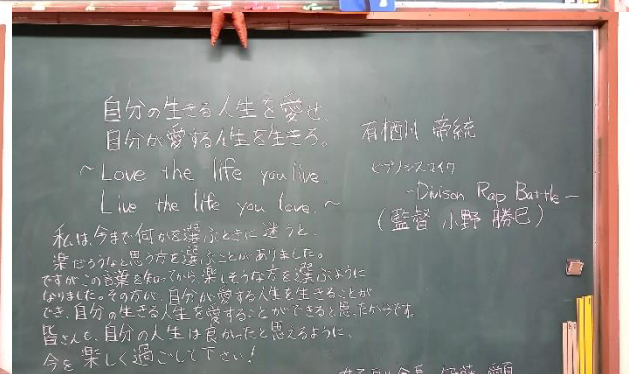
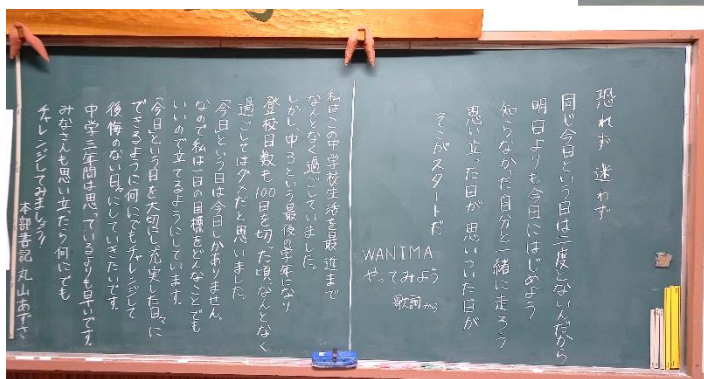
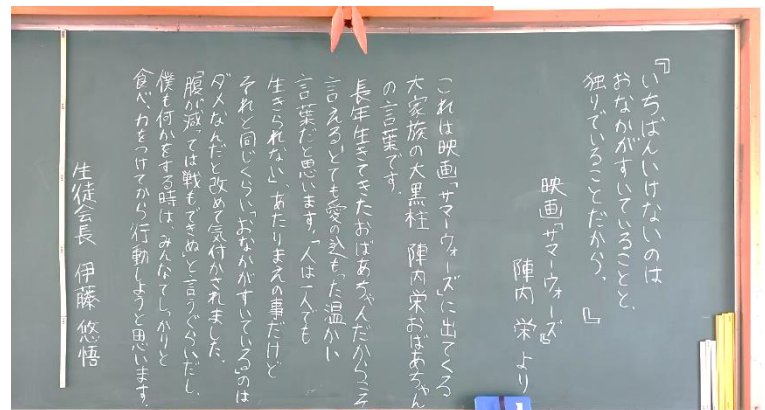
生徒会の新たな取組「メッセージボード」

6月22日、伊藤生徒会長さんから全校生徒の皆さんにメッセージが発せられました。これは、今年度生徒会の新たな取組の一つ、執行委員を中心に全校生徒へ「大切にしている言葉」や「教訓」「みんなに伝えたいこと」「訴えたいこと」をメッセージとして送る取組です。

そのトップバッターとして、会長さん自らメッセージを発してくれました。…『いちばんいけないのは、おなかがすいていることと、独りであることだから…』長生きしてきたおばあちゃんだから

言える言葉…愛のこもった温かい言葉…みんなでしっかり食べ、力をつけて行動しよう…

*黒板の前に立ち止まってじっと読んでいる生徒さんを見かけます。生徒会の活躍を期待しています。



恐れず迷わず…思い立ったら何にでもチャレンジ

自分の生きる人生を愛せ。自分が愛する人生を生きろ

3学年「総合」CM制作に向けて

伊那ケーブルテレビジョンの鹿兒島さんを講師に迎えて、7/1（木）にビデオ撮影講習会が行われました。

I♥ 高遠プロジェクトの重要な要素であるビデオ撮影について、気を付けるポイントを分かりやすく教えていただきました。

「人物をアップで撮るときは、人物の視線の方向の空間を広くとる」「1カットは5～6秒で、30秒のCMなら5カットくらい」「カットをつなぐときは、同じような画角（写る範囲）を続けない、アップで撮るなど変化をつけて」「何を伝えたいかテーマを絞って、あれもこれも盛り込まない」「映像と合う音楽を使う」など、実際にビデオカ



メラを通した映像を使って説明されると、何気ない映像であっても新鮮に感じました。

自分たちの伝えたいテーマやコンセプトを更に絞り込んで、9/28の応募締め切りに向け絵コンテ作成・CM撮影など忙しくなります。各グループの完成したCMを観るのが今から楽しみです。

（「3学年通信」より）

2学年キャリア教育「職場体験学習」

7/6～7/8

緊張の中、任された仕事に精を出す姿がたくさん見られたそうです。お疲れ様でした。



・・おしらせ・・

『中学生の自習室』今年も開催します。

～伊那市教育委員会主催～

【高遠やますそ会場】

- ・ 8/3（火）～8/6（金）
- ・ 8：45～12：30
- ・ 中学1～3年生

夏休みの自習室について、案内ちらし（申し込み用紙）を配布いたします。生活リズムを整えたり、効率的に学習したりする機会としてご利用ください。